

皆さんの

医療費の状況をお知らせします！



共済組合では、「短期給付財政安定化計画(データヘルス計画)」及び「医療費適正化対策事業」の一環として、平成27年度及び平成28年8月分のレセプト(診療報酬明細書)をもとに医療費の統計を行いました。

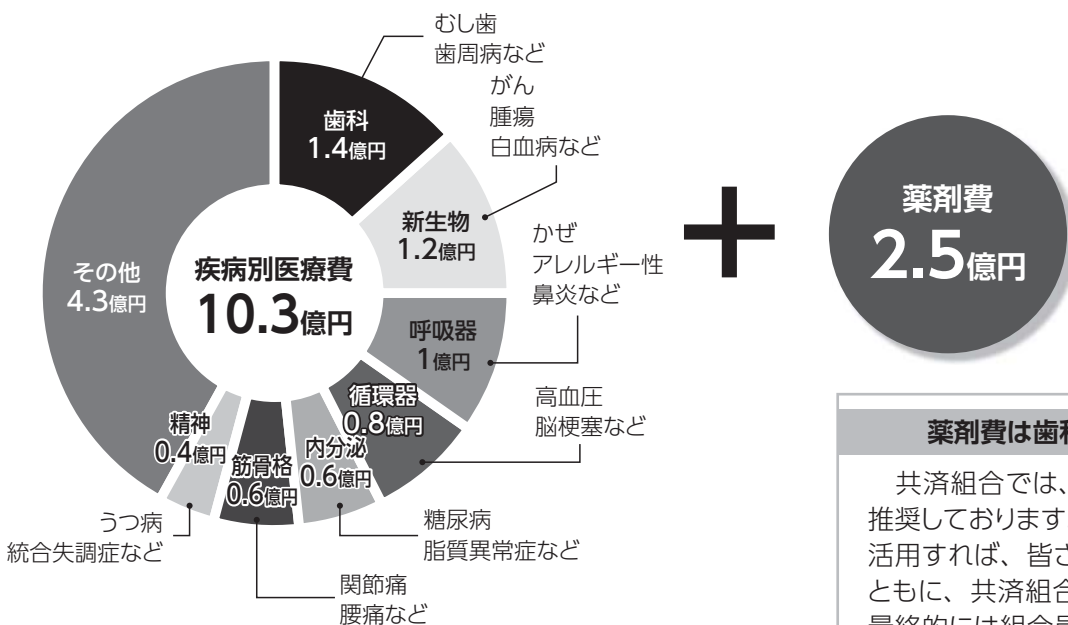
どのような病気で医療機関にかかっているのか、1人当たりの医療費はどれくらいか、年齢によってどのような疾病が多いのかなどの目安になります。

なお、組合員の皆さまには、年2回の医療費通知を行っております。日頃から医療費への関心を持っていただくことが、皆さまの健康と健全な医療保険制度の運営につながります。

医療費を疾病分類別にみると

平成28年8月の医療費に注目してみました。1ヵ月の医療費を疾病分類別にみると、「歯科疾患」が全体の約13%を占め1位となっています。このグラフから、生活習慣の見直しで予防が可能な疾病が上位を占めていることがわかります。また、薬剤費は約2.5億円となっており、この薬剤費のうちジェネリック医薬品の利用は40%程度となっております。早期発見、重症化予防のために健康診断は定期的に受けましょう。健康診断で異常があった場合は、必ず医療機関へ受診しましょう。

平成28年8月の疾病分類別医療費と薬剤費



薬剤費は歯科疾患の約1.8倍!!

共済組合では、ジェネリック医薬品を推奨しております。ジェネリック医薬品を活用すれば、皆さまのお薬代を減らすとともに、共済組合全体の医療費を抑え、最終的には組合員の皆さまからお預かりする掛金の上昇を抑えることにもつながります。

まずは、生活習慣の見直し・改善をしてみましょう！

- 栄養バランスのよい食事をとる
主食・主菜・副菜をそろえる
- あぶらに注意
肉よりも魚介類・大豆製品を
- 塩分は控えめに
みそ汁は1日1杯まで
麺類の汁は残す
- お酒は適量に
- 食物繊維を多くとる
- よく噛んで食べる
- 野菜から食べる
- ウォーキングなど適度な運動をする
- 日常生活でこまめに動く
- 禁煙にチャレンジ
- ストレスをためない

できることを少しずつ、今日からはじめてみませんか。

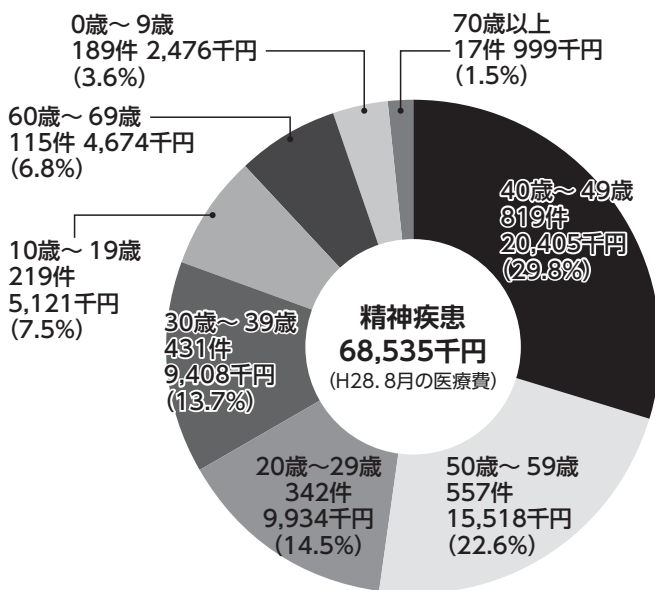


精神疾患の受診状況をみると

平成28年8月の精神疾患の医療費について、年齢階層別でランキングすると、下記のグラフのような結果となり、40歳～49歳の年齢層が全体の約30%を占めています。

1人当たりの医療費は、65歳～69歳が最も高いですが、20歳～24歳の若年層の医療費も高くなってきております。

精神疾患の年齢階層別の医療費と構成割合



精神疾患の1人当たりの医療費

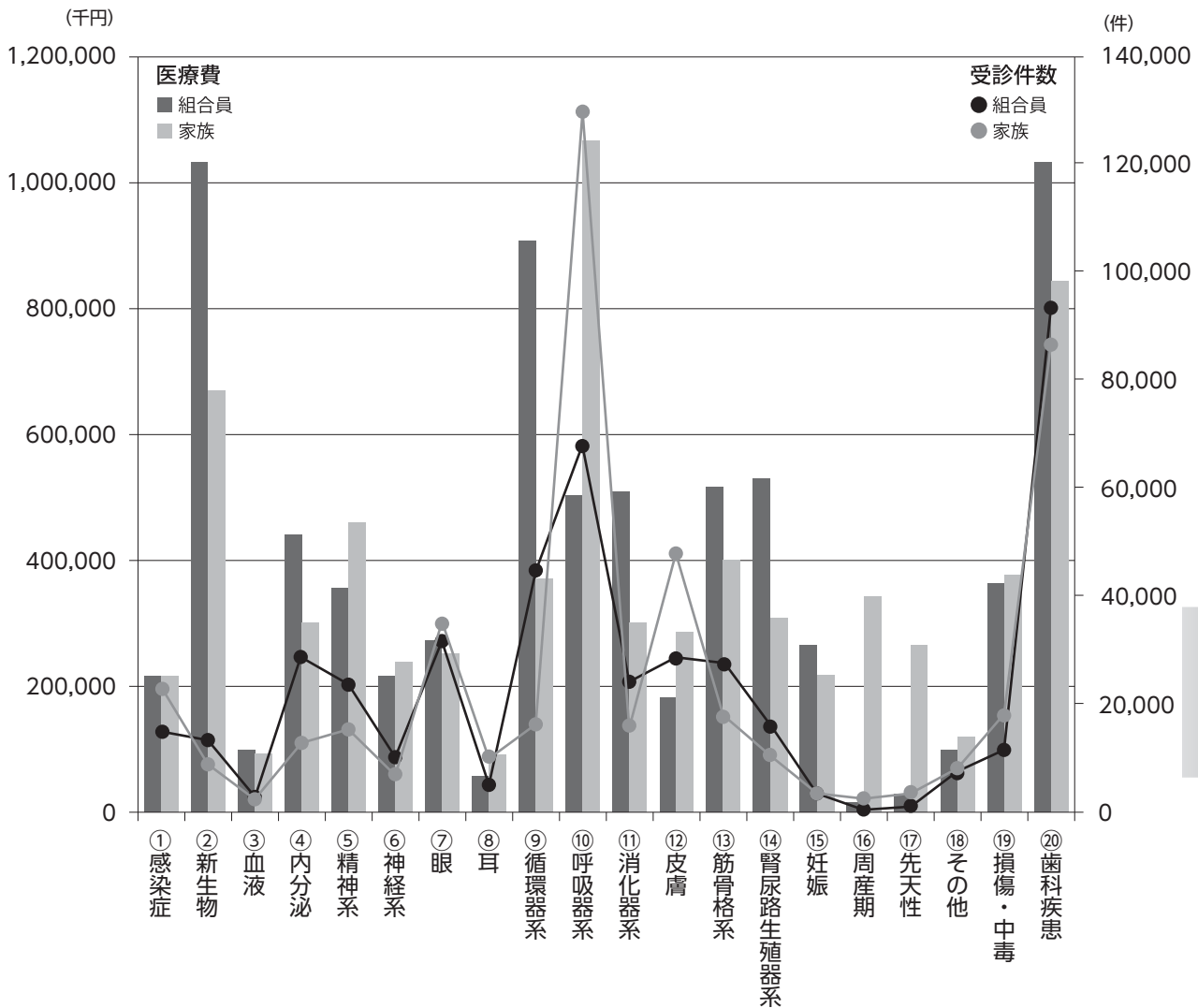
年齢区分	1人当たり医療費(円)
0歳～4歳	10,046
5歳～9歳	14,085
10歳～14歳	20,334
15歳～19歳	26,637
20歳～24歳	46,575
25歳～29歳	21,493
30歳～34歳	22,785
35歳～39歳	21,002
40歳～44歳	24,284
45歳～49歳	25,475
50歳～54歳	28,276
55歳～59歳	27,353
60歳～64歳	38,453
65歳～69歳	59,438
70歳以上	58,787

メンタル不調の原因は色々あると思いますが、こころが疲れることは誰にでもありえることです。職場の同僚や、家族がいつもと様子が違うなど、SOSサインが出ていないか注意して見てみましょう。もし、サインが出ていたら、ひと声かけて相談にのってあげる気持ちが大切です。

平成27年度の医療費と件数を疾病分類別にみると

組合員と家族を合わせた合計の件数は「呼吸器系の疾患」と「歯科疾患」が顕著に多く、医療費では「歯科疾患」がトップで、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「循環器系の疾患」と続きます。

組合員でみると「歯科疾患」、「新生物」の医療費が多いことがわかります。家族では「呼吸器系の疾患」の医療費が最も多い金額となっており、続いて「歯科疾患」が多くなっています。「歯科疾患」は、組合員と家族ともに件数も医療費も多いことがわかります。



さらに年齢階層別に詳しく分析すると...

項目	主な傷病名
① 感染症	結核、ウイルス肝炎
② 新生物	腫瘍、白血病、がん
③ 血液	貧血
④ 内分泌	糖尿病、脂質異常症
⑤ 精神系	うつ病、統合失調症
⑥ 神経系	パーキンソン病、てんかん
⑦ 眼	結膜炎、白内障
⑧ 耳	外耳炎、メニエール病
⑨ 循環器系	高血圧症、脳梗塞
⑩ 呼吸器系	かぜ、アレルギー性鼻炎

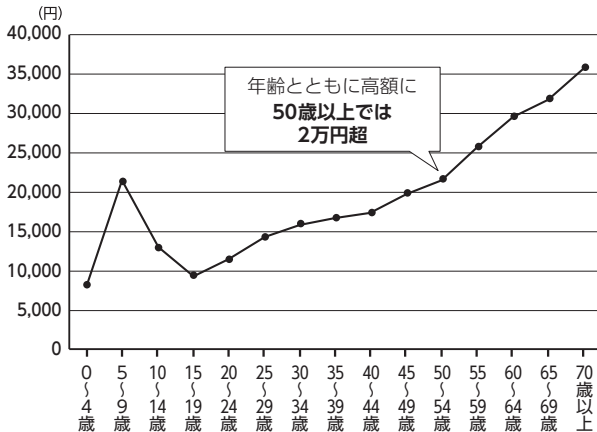
項目	主な傷病名
⑪ 消化器系	胃炎、肝炎
⑫ 皮膚	湿疹、にきび
⑬ 筋骨格系	関節症、腰痛
⑭ 腎尿路生殖器系	腎不全、尿路結石症
⑮ 妊娠	流産、切迫早産
⑯ 周産期	胎児発育の障害
⑰ 先天性	染色体異常
⑱ その他	ほかに分類されないもの
⑲ 損傷・中毒	骨折、やけど
⑳ 歯科疾患	むし歯、歯周病

1人当たりの医療費を疾病分類別にみると

$$\text{1人当たりの医療費} = \frac{\text{疾病分類ごとの総医療費}}{\text{平均組合員数} + \text{平均被扶養者数}}$$

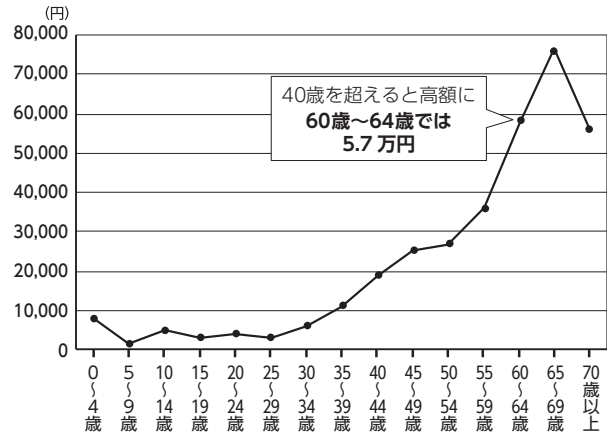
歯科疾患

むし歯、歯周病など歯の疾患では、5歳～9歳が2万1,431円と高く、また、50歳以上からも2万円を超え年齢を重ねるごとに高くなっていく傾向にあります。65歳以上では3万円を超えています。



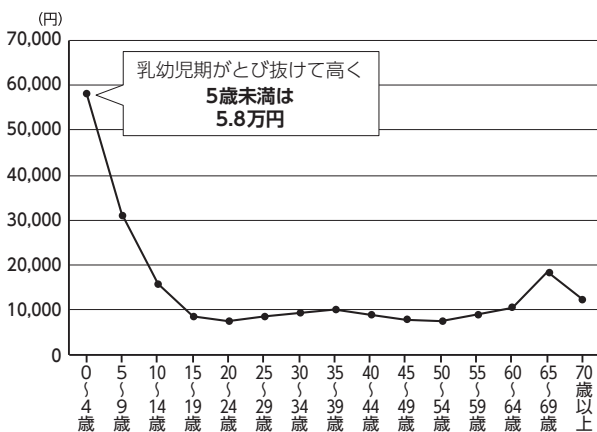
新生物

乳がん、胃がん、肺がんなど主ながんの疾患で、30歳から年齢とともに徐々に高くなり、60歳～64歳は約5.7万円、65歳～69歳では約7.7万円ととび抜けて高くなっています。



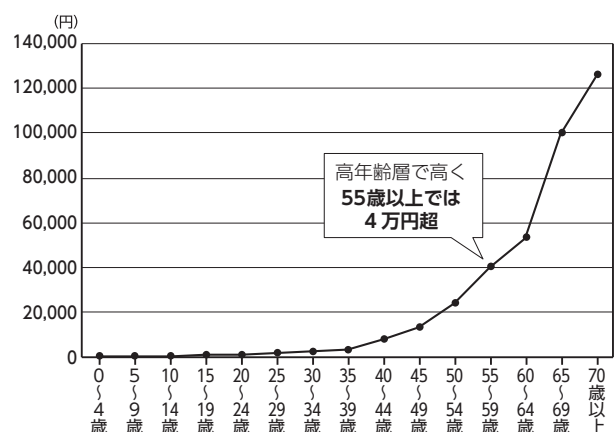
呼吸器系

かぜ、アレルギー性鼻炎、喘息等を含む呼吸器系の疾患では0歳～14歳までが60歳以上よりも高い傾向にあります。特に乳幼児期は5.8万円ととび抜けて高くなっています。



循環器系

循環器系の疾患では狭心症などを含む心疾患や脳内出血などの脳疾患が多くみられ、30歳まではほぼ横ばいですが、45歳以上からは1万円を超え、55歳を超えると一気に増加し、約4万円を超えます。



これまでの統計・分析から、30歳から徐々に高血圧やがんなどの生活習慣病関連の医療費が高くなっていくことがわかります。一方で、むし歯やかぜなど普段からかかりやすい疾患は乳幼児期や50歳以上の方に医療費が多くかかっています。これら身近な病気は、毎日の歯磨きやうがい、手洗いなどで予防できるものなので、習慣づけて行うことが大切です。

疾患の中でも、生活習慣病は35歳を境に右肩上がりに受診者数が増加しており、医療費も飛びぬけて高額になります。年に一度は必ず健診を受け、食事や飲酒など日頃の生活習慣を見直し、禁煙や運動を意識的に日常に取り入れるなど、日々のちょっとした行動で、家族みんなで健康的な暮らしを実現しましょう。